

Access

1. 電車利用の場合

本庄早稲田駅(上越・北陸新幹線)より徒歩約13分。
本庄駅(JR高崎線)より「スクールバス」またはタクシーで約13分。
寄居駅(JR・東武鉄道・秩父鉄道)より
「スクールバス」またはタクシーで約30分。

2. 自動車利用の場合

関越自動車道「本庄児玉インター」より
車で約10分。



Information

学院説明会及び生徒寮見学会

第1回 7月 12日(土)

第2回 9月 27日(土)



学院説明会・生徒寮見学会

稲稜祭(文化祭)

11月1日(土)・2日(日)

※一般公開などの詳細は本学院WEBサイトでお知らせします。



早稲田大学本庄高等学院

〒367-0032 埼玉県本庄市栗崎 239-3
TEL:0495-21-2400 (代) FAX:0495-24-4065
<https://www.waseda.jp/school/honjo/>
E-mail: honjosh@list.waseda.jp



本庄高等学院WEB

※掲載情報は2025年6月1日現在のものです。最新の情報は本学院WEBサイトでご確認ください。

通学地域別人数(人)

●生徒寮 202 ●東京都 223

●埼玉県 423

さいたま市 131
本庄市 49
上尾市 26
熊谷市 21
鴻巣市 20
深谷市 18
川口市 17
桶川市 12
児玉郡 11
ふじみ野市 10
川越市 9
久喜市 9
鶴ヶ島市 8
坂戸市 7
春日部市 7
朝霞市 7
東松山市 6
秩父市 5
比企郡 4
富士見市 4
志木市 4
越谷市 3
戸田市 3
吉川市 3
所沢市 3
草加市 3
新座市 3
蕨市 2
三郷市 2
北本市 2
日高市 2
羽生市 2
行田市 1
入間郡 1
秩父郡 1
幸手市 1
北足立郡 1
蓮田市 1
和光市 1
加須市 1
狭山市 1
北葛飾郡 1

練馬区 18
世田谷区 16
江東区 16
杉並区 14
品川区 13
大田区 10
港区 10
北区 10
目黒区 9
文京区 8
板橋区 7
新宿区 7
渋谷区 6
台東区 6
三鷹市 6
武蔵野市 6
江戸川区 5
足立区 5
荒川区 5
豊島区 4
葛飾区 4
中野区 4
中央区 3
国分寺市 3
八王子市 3
小平市 3
東久留米市 3
墨田区 2
狛江市 2
小金井市 2
町田市 2
多摩市 2
西東京市 1
千代田区 1
府中市 1
国立市 1
調布市 1
福生市 1
稲城市 1
あきる野市 1
立川市 1

●神奈川県 26
横浜市 15
川崎市 10
鎌倉市 1

●群馬県 54
高崎市 26
前橋市 19
太田市 6
渋川市 1
沼田市 1
富岡市 1

●千葉県 43
浦安市 12
柏市 8
松戸市 5
千葉市 4
野田市 3
船橋市 3
市川市 3
流山市 2
習志野市 2
成田市 1

●栃木県 5
宇都宮市 3
芳賀郡 1
那須塩原市 1

●茨城県 1
つくば市 1

●新潟県 1
長岡市 1

●長野県 2
長野市 1
北佐久郡 1



早稲田大学本庄高等学院

Waseda University Honjo Senior High School



学院案内 2026





早稲田大学は創立100周年を記念して、日本国内のみならず世界各国から、将来早稲田大学をめざす意欲的な生徒を迎えることを期して、早稲田大学本庄高等学院を1982年4月に埼玉県本庄市に男子校として創立した。その後、2007年4月に男女共学となり、2012年4月に現在の校舎へ移転した。本庄高等学院の教育の目的は、本庄キャンパスの豊かな自然環境で逞しい心身を養い、自由と自立の校風のなか、「自ら学び、自ら問う」という教育方針のもと、「進取の精神」に満ちた活力ある生徒を育てることである。

高等学院という名は、戦前の早稲田大学予科である「第一・第二高等学院」に由来する。早稲田大学予科は早稲田大学の各学部に進学するための予備教育の学校であり、ここで学んだ学生は、無試験で早稲田大学に進学した。

本庄高等学院では、生徒を「学院生」と呼ぶ。この呼称は早稲田大学の一員である矜持を表している。

■ 早稲田大学本庄高等学院 沿革

1882(明治15)年 東京専門学校創立
1902(明治35)年 早稲田大学と改称
1903(明治36)年 早慶野球戦開始
1907(明治40)年 校歌制定
1920(大正 9)年 「大学令」による大学となる
旧制早稲田大学早稲田高等学院設置

1927(昭和 2)年 大隈講堂落成
1980(昭和55)年 早稲田大学評議員会で
本庄高等学院の設置決定
1982(昭和57)年 早稲田大学本庄高等学院開校
第1回入学式
1984(昭和59)年 第1回訪中修学旅行

1985(昭和60)年 第1回卒業式
1991(平成 3)年 創立10周年記念式典
2002(平成14)年 文部科学省よりスーパーサイエンス
ハイスクール(SSH)に指定される
2007(平成19)年 定員を80名増やし、男女共学となる
創立25周年記念式典

2012(平成24)年 新校舎・生徒寮竣工
生徒寮を「早苗寮」と命名
創立30周年記念式典
2015(平成27)年 稲稜ホール棟竣工
文部科学省よりスーパーグローバル
ハイスクール(SGH)に指定される

2018(平成30)年 女子寮竣工「梓寮」と命名
2020(令和 2)年 体育館竣工
2022(令和 4)年 日本医科大学推薦入学制度開始

恋心と結婚



早稲田大学本庄高等学院
学院長

半田 亨

2025年度学院案内に、私は「恋をしましょう!」という題名で駄文を書きました。今回は「学校を好きになってほしい」というお話を、別の視点からしたいと思います。

【恋】「特定の相手に深い愛情をいだき、その存在が身近に感じられるときは、他のすべてを犠牲にしても惜しくないほどの満足感・充足感に酔って心が高揚する一方、破局を恐れての不安と焦燥に駆られる心的状態。」(新明解国語辞典 第八版、三省堂)

恋の対象である「特定の相手」は人間とは限りません。ペットの場合もあれば、アニメのキャラクターの場合もあるでしょう。スポーツや音楽・作家などの芸術や文学、ひょっとしたら宝石やブランドの場合もあるかもしれません。その対象が何であれ、相手との恋に落ち、身を焦がすような思いをした経験、時には嫉妬や憎しみすら感じた経験は、自分の感情をコントロールする過程を通して、長い目で見るとその人の人間成長に大きく寄与します。恋をすると美しくなる・優しくなるという人もいます。

恋には必ず破局があります。相手が人やペットの場合は別れや死がそれを引き起こします。恋が佳境にある時は、「満足感・充足感に酔って心が昂揚」しますが、破局が近づいていることを感じると「不安と焦燥」に駆られます。好きになることは理屈ではありません。「どこが好きなの?」と聞かれても、言葉でうまく説明できるわけではありません。逆に、言葉で説明できるような関係であれば、長く続かないでしょう。ひょっとしたら「あなたのこんなところが好きだから、こんなところは我慢する」と、理屈で自分を納得させようということが多くになっているとしたら、その恋は破局が近づいているのかもしれませんが。

一番好きな人と結婚することが、その後の幸せな生活につながるとは限りません。結婚の場合は、経済的な安定や子供が好きか?双方の家庭環境など、社会の中で実際に生活を営むために、恋人関係でいた時以上に、他の多くの要素が結婚に踏み切るかどうかの決断に関わってきます。

そのことは高校・大学と就職の関係に似ています。多くの高校の中で何かのきっかけで気になる学校が現れます。それは学校や塾の先生の勧め、大学受験がない・偏差値的に望ましい等の点で自分の価値観に合っている、兄弟や両親がその学校出身であるなどの理由かもしれませんが。恋の始まりのほとんどが偶発的で些細なことであるのに

対して、学校選択は自分の価値観や現状の確認が入る分、計算や意識的な要素が大きいかもしれません。しかし、その後学校説明会や文化祭に参加して、雰囲気を感じ取り理解を深めていくにつれて想いが募る過程は恋に似ています。義務教育である中学校までと異なり、自由に選択できる高校・大学をどこにするかは人生の大きなターニングポイントです。そこでの生活はその後の将来に大きな影響を与えます。人生の方向を決定するかもしれません。恋の予感を感じた相手のことを、思い込みや噂話だけではなく、しっかり自分の目と印象で確認することが必須です。説明会や文化祭に参加し、学校の雰囲気や生徒の姿が自分の感性に合うものか、偏差値や他人のアドバイスといったフィルターをかけない、素直な気持ちで判断してください。

ここでは「本庄学院は設備でも教育でも最高だから受験してください」と、大風呂敷を広げて皆さんに申し上げるつもりはありません。本学院よりも設備が充実している高校はいっぱいあるでしょう。「教育が最高」は何を指すのか分かりにくいですが、教育レベルや教員の持っている知識において、本庄学院よりも高い学校もあるでしょう。

それでも、1つ自信と確信を持って言えることは、本学院の先生たちは全員、本庄学院が好きだということです。そして本庄学院にプライドを持っています。もちろん私も本庄学院が好きです。身を焦がすような恋心を日々感じています。限られた施設設備・予算・時間の中で、教員が恋する学校のためにやれることは限られています。その中でも、日々学院生にとって居心地が良くワクワクするような本庄学院にしたいと努力しています。

説明会や稲稜祭にいらして、あなたが本庄学院に恋の予感を感じたなら、ぜひ受験してください。入学して日々一緒に過ごすようになると、本庄学院のいいところ、悪いところをもっとわかってきます。でも、恋は理屈ではありません。本庄学院は悪いところを覆い隠すだけのいいところがある学校です。なぜかよくわからないけれども好きになる、そんな学校だと確信します。本庄学院で早稲田との恋に落ちてください。恋心に翻弄される3年間の学院生活を経て、早ければ7年後、あなたは長く付き合った早稲田との別離を迎えます。でもそれは死や破局による別れではありません。今まで恋人だったのが、一生付き合える友達に変わっただけです。恋に落ちて7年間、身を焦がすような思いをした日々は、その間あなたを美しく、優しく、大きく成長させています。

そして、あなたの夢と結婚してください。



早稲田大学
総長

田中 愛治

現在の高等学校の教育が、大学入試に合格することが自己目的化され、偏差値教育に偏っていると、多くの識者から指摘されてきました。その背景には、第2次世界大戦後の日本の教育においては、「答えのある問題に早く正解を出せる人材が有能な人材である」という認識があったのです。しかし、今日の世界では、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックを例にとっても明らかに、人類が直面している問題はほとんど答えのない問題、もしくは正解が1つではない問題ばかりです。

幸い、早稲田大学本庄高等学院においては、原則としてすべての卒業生が早稲田大学に進学することが認められていますので、厳しい大学入試を突破するための、受験技術優先の学習、断片的な知識をひたすら詰め込むといった学習に時間を費やすことなく、自由で伸び伸びとした環境の中で、総合的な理解力、個性的な判断力を涵養することができます。

その意味では、本来高校生の時に育むべき答えのない問題に挑戦する「たくましい知性」を、本庄高等学院では育むことが出来るのです。言いかえれば、多面的・総合的な力の育成が日本の多くの高校で軽視されている今日に、そのような本質的な教育が本庄高等学院では可能になっています。

また、本庄高等学院では、生涯にわたって学習する基盤が培われるよう、義務教育の基礎の上に、主体的に学ぶ習慣と幅広い教養を身に付け、一人一人の個性の伸長を図ることが可能です。そのために、体験活動等も充実し、社会の発展に寄与する志や責任感を養うことが可能となっています。

本庄高等学院では、大久保山と呼ばれる広大な本庄キャンパスの緑豊かな自然環境を活用することができ、近隣自治体等の協力も得て、さまざまな体験型の学習プログラムを実施しており、自然や社会に対するみずみずしい感性を育成することもできます。

また、本庄高等学院には、国内外から、さまざまなバックグラウンド、異なる価値観をもった生徒たちが集まっており、自分とは異なるバックグラウンドや価値観を持つ友人を受け入れる「しなやかな感性」を育むことができ

ます。教室で、部活動で、そしてまた早苗寮・梓寮での共同生活を通じて、「しなやかな感性」を持つ豊かな人間性を育むことができるのです。

と同時に、グローバル化と少子高齢化が急速に進展する中で、日本が将来にわたって国際社会で信頼され、存在感を発揮しつつ発展していくためには、世界を舞台に挑戦する主体性と創造性、豊かな人間性を持った多様な人材が社会の様々な分野で活躍することが必要であり、ます。そのためには、教育を通じて、夢を強い志に高め、それを実現に導く情熱や力、社会に貢献し責任を果たす使命感、幅広い教養、語学力、コミュニケーション能力、課題発見・探究・解決能力、リーダーシップ、豊かな感性などを培うことが重要であると考えています。

本庄高等学院では、2002年度より15年間にわたるスーパーサイエンスハイスクール事業と2015年度より5年間にわたるスーパーグローバルハイスクール事業において、生徒主導のプロジェクト型探究活動を国内外で継続的に実践して参りました。

早稲田大学は、自由で独創的な研究を通じて世界の学問に裨益すること(学問の独立)、学理を学理として究めるとともに、これを実際に応用する道を開くことで社会の発展に寄与すること(学問の活用)、個性を尊重し、心身を発達させるとともに、「一身一家一国のためのみならず、進んで世界に貢献する抱負が無くてはならぬ」(模範国民の造就)という創立者・大隈重信侯が唱えた「早稲田大学教旨」を建学の理念として143年の歴史を積み重ね、世界中の至る所で、また、ありとあらゆる分野で大いに活躍する多様な卒業生を送り出し、社会から高い評価を受けて参りました。

高校進学を目指している皆さんが、早稲田大学本庄高等学院の優れた学習環境と「[自ら学び、自ら問う]ことを学習姿勢の基本とする」という教育方針をご理解いただき、本庄高等学院で充実した3年間を過ごし、卒業後は早稲田大学に進学し、やがては早稲田大学の建学の精神を体現するグローバルリーダーとして世界の平和と人類の幸福の実現のために大いに貢献すべく、本学院に進学してくださることを期待しています。

早稲田大学校歌

坪内逍遙 校詞 相馬御風 作詞 東儀鉄笛 作曲

都の西北 早稲田の森に
聳ゆる薨は われらが母校
われらが日ごろの 抱負を知るや
進取の精神 学の独立
現世を忘れぬ 久遠の理想
かがやくわれらが 行手を見よや
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ

東西古今の 文化のうしほ
一つに渦巻く 大島国の
大なる使命を 担ひて立てる
われらが行手は 窮り知らず
やがても久遠の 理想の影は
あまねく天下に 輝き布かん
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ

あれ見よかしこの 常磐の森は
心のふるさと われらが母校
集り散じて 人は変れど
仰ぐは同じき 理想の光
いざ声そろへて 空もとどろに
われらが母校の 名をばたたへん
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ

早稲田大学本庄高等学院 概況

- 名 称／早稲田大学本庄高等学院
- 学 院 長／半田亨
- 所 在 地／埼玉県本庄市栗崎239-3
- 課 程／全日制課程 普通科
- 募集定員／
第1学年 男女320名
一般入試：男子約95名、女子約95名
帰 国 生：男子約10名、女子約10名
α 選 抜：男子約30名、女子約30名
I 選 抜：男女約20名
- 教 職 員／専任教諭:44名 職員:8名

早稲田大学教旨

早稲田大学は学問の独立を全うし 学問の活用を効し
模範国民を造就するを以て建学の主旨と為す
早稲田大学は学問の独立を主旨と為すを以て
之が自由探究を主とし
常に独創の研鑽に力め
以て世界の学問に裨補せん事を期す
早稲田大学は学問の活用を主旨と為すを以て
学理を学理として研究すると共に
之を實際に応用するの道を講じ
以て時世の進運に資せん事を期す
早稲田大学は模範国民の造就を主旨と為すを以て
個性を尊重し 身家を発達し 国家社会を利済し
併せて広く世界に活動す可き人格を養成せん事を期す

早稲田大学の概要

早稲田大学は、1882 年、自由民権運動が激しさを増すなか、“学問の独立”を標榜する大隈重信によって、「東京専門学校」として創設されました。それは、国家が必要とする人材の養成機関である官学に対し、在野的な「自由な精神」あふれる人間の育成をめざすものでした。「早稲田大学」と名称を変えた今も、進取の精神と東西文明の調和に基づき、情報化社会や国際社会の動向をみつめ、時代に先駆ける教育を行っています。143 年の歴史と伝統を誇る早稲田大学では、学問のみならず、人間を学び、生き方を学び、自由を学ぶことができます。この早稲田精神を身につけて巣立った学生たちは、産業、法曹、文化、芸術など社会のあらゆるフィールドで活躍しています。

教育課程

教育課程 》



教育方針

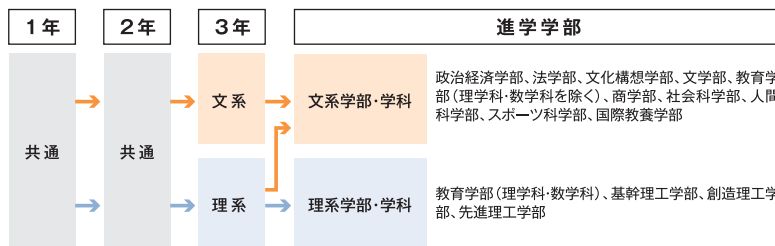
- 断片的な知識の集積ではない、総合的な理解力、個性的な判断力を涵養する。
- 多様な交流を通じて、人間・社会・自然に対するみずみずしい感性を育成する。
- 知識と実行力(気力と体力)との結合を期する。
- 「自ら学び、自ら問う」ことを学習姿勢の基本とする。

教育課程

教科	1年	2年	3年
国語	現代の国語② 言語文化②	文学国語② 古典探究②	論理国語③ 古典探究②
地理歴史	歴史総合②	世界史探究② 日本史探究②	地理総合②
公民	公共②	政治・経済②	
数学	数学I③ 数学A②	数学II③ 数学B③	文系 数学Ⅲ② 理系 数学Ⅲ③ 数学C③
理科	化学基礎② 生物基礎②	物理基礎②	文・理 地学基礎② 理系 化学③ 物理・生物③※2
保健体育	体育② 保健①	体育③ 保健①	体育②
芸術	音楽I・美術I②※1		
外国語	英語コミュニケーションI③ 論理・表現I②	英語コミュニケーションII④ 論理・表現II②	英語コミュニケーションIII④ 論理・表現III②
家庭	家庭基礎②		
情報	情報I②		
総合		総合的な探究の時間 (大久保山学)②	
理数		理数探究基礎(物理)①	
学校設定			自由選択科目 文系⑫ 理系②
特別活動	HR①	HR①	HR①
単位合計	計32単位	計32単位	計32単位

※1.音楽I、美術Iから1科目選択 ※2.物理、生物から1科目選択、生物選択の場合は進学学部・学科に制限あり

文・理選択



卒業論文

3年間の学習の集大成として、2年次からすべての学院生が卒業論文に取り組みます。これは「自ら学び、自ら問う」という本学院の教育方針を具体化したものです。担当教員の指導を受けながら、調査・文献収集をし、自分の定めたテーマについて1,400字×15枚以上の論文にまとめます。この過程を通して、学院生たちは問題意識を持つこととその解決方法、学術的な調査の方法、客観的な説得力を持つ文章の書き方、著作権への配慮などを学び取ります。

●日課表

第1時限	9:10～10:00	第4時限	12:20～13:10
第2時限	10:10～11:00	ランチタイム	
コーヒーブレイク		第5時限	13:50～14:40
第3時限	11:20～12:10	第6時限	14:50～15:40

※完全下校時刻18:40 ※水曜日・土曜日は第4時限で終了

2年次総合的な探究の時間(大久保山学)

大久保山とは、厳密には校舎北西側の最高地点(海拔112m)ですが、一般的にはキャンパス一帯の丘陵地を指します。ここでの自然や地理、歴史遺物、高校生活を送る生徒の考えなどに題材を取り、従来の教科の枠にとらわれない担当教員独自の切り口で、授業を展開します。学期毎に3人の教員のオムニバス形式で授業を行います。受講生は3つの授業テーマの組み合わせから、自分の希望するものを登録します。ここで得た学際的かつ多面的な知識や方法を、卒論などのテーマ設定に活かすことを期待しています。

3年次選択科目

3年次には志望する進学先を想定し、7群(1群2単位)の選択科目を履修します。選択科目は大きく、理系コース・文系コースそれぞれに応じて必ず選択しなくてはならない必修選択と、コースによらず自分の学びたい内容を履修する自由選択に分かれます。

自由選択科目の内容は、大学で学ぶ内容へのスムーズな接続を図るもの、色々な場面で役立つ教養や技術を身につけるもの、語学や芸術など多岐にわたります。

2025年度開講の一部科目
早稲田大学と文学、平家物語を読む、地理学演習、日本近代史、法学入門、経営学入門、代数学入門、農業と環境、スポーツサイエンス、食文化多変量データ分析入門、アンサンブル、中国語入門、Academic Englishなど

留学

海外への留学を希望する場合は、本学院の規定に従って1学年度(10カ月から12カ月)の間、留学することができます。その場合、第一種留学(1年遅れで復学する)か第二種留学(1年遅れとならずに復学できる)のいずれかを選択します。留学により、異文化体験を通して多様な思考力と語学力を身につけ、帰国後に学院生活においてより一層の活躍をすることを期待しております。

学術交流校・短期留学学校

中国・蘇州中学
韓国・安養外国語高等学校、Hana Academy Seoul、Saeronam Christian School
台湾・台中市立台中第一高級中学
タイ・Mahidol Wittayanusorn School
ニュージーランド・Palmerston North-Hawke's Bayの12校

学部生からのメッセージ



2025年3月卒業
長屋 和樹

■卒論タイトル

「和太鼓の内側彫刻が音色に与える科学的影響」

私は、5歳から始めた和太鼓について、同種類の和太鼓でも音色が違うことに興味をもちました。そこで卒業論文として和太鼓内部の形状の違いによる音の変化を、周波数解析によって明確化しました。研究を進める過程で多くの壁に直面しましたが、先生方の支え、多くの人のサポートで論文が書けたことを実感しました。

論文をJSEC(高校生・高専生科学技術チャレンジ)2024にエントリーした結果、最終審査会に出場し、審査会では専門家や同年代の研究者から意見をいただき、多くの気づきと刺激を受けました。本学院での卒業論文は、大学のような専門性に特化したものでなく、興味あることを主体的に研究できるところが大きな魅力です。

大学の受験勉強という枠組みに囚われず、卒業論文で自分の世界と可能性を広げてみませんか。

教員からのメッセージ

数学は何かの役に立つのか



数学科
矢島 史仁

数学の教員を生業にしていると、生徒からも大人からも標題に書いたような質問を受けます。一見数学の可能性を問うているように思えますが、数学が役に立った試しがないのだという不満のようにも諦めのようにも聞こえます。

数学は論理的思考力や直観力を育てる——これは数学を学ぶ意義として広く浸透している価値観だと思います。しかし、数学から何かの力が与えられることを期待するのではなく、我々の興味や関心から数学の力を借りようとしたときにこそ、真に数学は我々に教訓をもたらすのではないのでしょうか。物理現象を記述したいとき、解析学が我々に語りかけるように、現在のデータから未来を見通したいとき、統計学が我々に語りかけるように。そしてもちろん、数学自体を突き詰めたいとき、それまで学んできた数学が我々に感性を授けるように。もし私が冒頭の質問を受けたならば、次のように答えます。数学は役に立ちますが、それは目的意識をもって数学と向き合った場合の話です、と。

本庄高等学院には発見があふれています。授業や課外活動、卒業論文に取り組む際、新しい挑戦をしなくなるはずです。そのようなときに数学を使うという選択肢をもとて、可能性がきっと大きく広がると思います。数学の授業では、問題の解法だけでなく、数学における諸概念の成り立ちや理論を大切に、「問題を解くのが上手な人」から「数学を使える人」への転換を目指します。

【特色のある授業】

- 3年理系は解析学と線形代数の基礎を学び、3年文系は経済学への応用も意識した実践的な内容を学びます。また、3年次選択科目で、代数学・幾何学・解析学といった大学レベルの科目を開講しています。
- Moodleシステムを利用したオンラインコンテンツを積極的に活用しています。
- 卒論指導でのセミナーや課外講義での体験型学習プログラムを用意しています。

イメージを形にして伝えよう



美術科
岡崎 春香

みなさんの思い浮かべる「花」はどんな形ですか?ちょっと描いて、だれかと見せ合ってみてください。

花びらは何枚?雄蕊と雌蕊の形は?茎と葉っぱも描きましたか?人それぞれ同じ「花」という題材を与えられたとしても、思い描いたものは違ったのではないのでしょうか。私の思い浮かべた花は、どんぐりの花でした。新年度の始まる4月、本庄高等学院では、どんぐりの花がたくさん地面に落ちています。どんぐりの花ってどんな形?と思った方はぜひ調べてみてください。

美術の時間では、みなさんの頭の中にあるものを目に見える形でアウトプットして作品にしています。作品の中からは、その人がどんな世界を見ているのか、どんなことを考えているのかが見えてくると思います。また、自分の感じていることや、イメージを形にしていくことで、自分と向き合い理解する時間にもなります。授業では、制作の過程や、完成した作品を通して、友人とコミュニケーションを取る時間も多くなります。

言葉や文章だけでは伝えきれないことを表現するのが美術です。作品がうまくできるか心配、と思うこともあるかもしれませんが、ぜひ、自分の中にあるイメージを形にして、伝えることに挑戦してみてくださいと思います。

【特色のある授業】

- 本庄高等学院の広大で美しい自然環境の中、風景画を描きます。
- 陶芸専用の電気窯がありますので、本格的な陶芸作品を作ります。
- ワークシートを用いて、イメージを形にしていく工程を残すことや、自分の考えを言語化することも大切にしています。
- 3年次選択科目の授業では、卒業制作として自分で設定した作品を作り、発表展示します。

“Maybe I can help you.”



英語科
望月 真帆

タイトルにしたこの表現は私がフランスのある町で聞いた英語です。国際線の乗り継ぎのフライトが遅れて一泊することになり、空港近くの静かな町に案内されました。夕食に出てホテルに戻ろうとした帰り道、立ち止まってフランス語の地図と標識を「解説」していた時に、通りかかった地元の人がこのように声をかけてくれました。フランスで聞いたシンプルで温かいこの英語。それ以来自分は縁あって学んでいる英語を使って他人のためにどんなアクションを取れるかと、折々に考えるようになりました。

使える言語の種類が増えると情報源や人間関係、さらに楽しみも広がります。英語の授業では教科書も大いに使いますが、英語の書籍やネット上の英語のコンテンツも活用して言語活動の幅を広げています。授業に加えて種々の国際交流プログラムに参加すれば実体験からも学べます。外部英語試験のスコアや習熟度の違いはあっても、それぞれが英語の使用者として、自己表現とやりとりの経験を積んでいきましょう。

そしてある日、支援が要りそうな人を目にしたら“Maybe I can help you.”とためらわず言葉をかけられる勢いを、自分の中に育てていってほしいと願っています。

【特色のある授業】

- 英語のプレゼンテーションはどの学年でも経験します。
- 「4技能」および語彙、発音、文法をまんべんなく学習します。英語多読活動も取り入れています。
- 表現と発表を重視する科目は習熟度別グループで行います。
- 3年次選択科目は大学初年度レベルのものもあります。英語関連や英語圏文化のテーマであれば卒論で英語で書くこともできます。

どう生きるか、語り合おう



家庭科
棚橋 知之

1966年の干支は「丙午(ひのえうま)」でした。丙午とは60年に一度巡ってくる干支の一つです。当時、丙午の年に出産するのは縁起が良くないという「噂」が広がりました。その結果、合計特殊出生率が大きく下がりました。科学的根拠はない「噂」に影響を受け、出産を避けた人が多数いらしたのです。

あれから60年。2026年の干支は丙午です。丙午は、その「噂」と共に私たちの生活の中へやって来ます。まずは、丙午の「噂」が誕生した背景と過去に影響を受けた人々の状況・心の中を学びましょう。

そして、語り合いましょう。君は「丙午」に影響を受けて出産を避けるタイプか、影響を受けずに出産するタイプか、いずれに当てはまるでしょうか。どのような価値観で、どのように生きていきたいのか、クラスメイトと語り合いましょう。人生にパートナーの存在を望むのか望まないのか、出産を望むのか望まないのか。君は人生をどう生きようとしているのか……。このように、家庭科では皆さんの生き方に影響を与えそうなものを教材として扱います。

次々に登場する「人生に影響を与えそうなモノ」たち……。それらがどんなモノで、どんな仕組みになっているのか学び、語り合いましょう。

【特色のある授業】

- 自分の感想・考えをまとめ、発表する機会が沢山あります。
- 生活の様々な場面には必ず人がいます。その人を学ぶために豊富な映像教材を用います。
- 学んだ内容を追体験する教材・実習があります。
- 3年次選択科目の授業では年間約15回、調理実習を実施します。

高大一貫教育

高大一貫教育



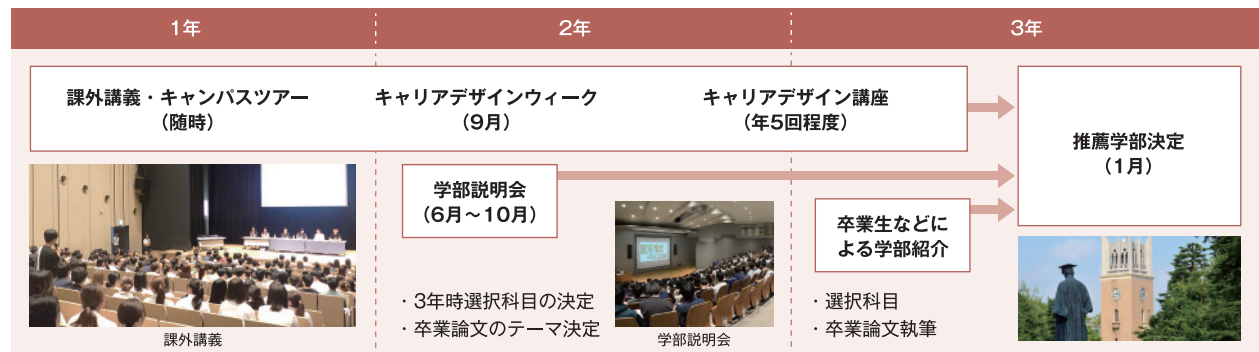
早稲田大学との高大一貫教育を具体化したものとして、各種の課外講義やセミナーがあります。早稲田大学の教員、専門家・卒業生の講義を通じて、学問研究と職業世界の醍醐味に触れ、学部進学への意欲・関心と将来への展望を形成していきます。

早稲田大学に進学

卒業基準を満たした生徒は全員早稲田大学に進学できます。
進学する学部は、生徒本人の希望をふまえ、3年間の成績と卒業論文の評価を参考に決定されます。

●早稲田大学学部進学データ(2025 年春) 総数 307 人										教育学部3人
政治経済学部 73人	法学部 36人	基幹理工学部 36人	商学部 35人	創造理工学部 34人	先進理工学部 22人	文化構想学部 21人	社会科学部 19人	文学部 15人	国際教養学部 13人	
日本医科大学への推薦進学 2人										他大学への進学 0人

●本庄高等学院から学部へ[学部選択・進路形成]

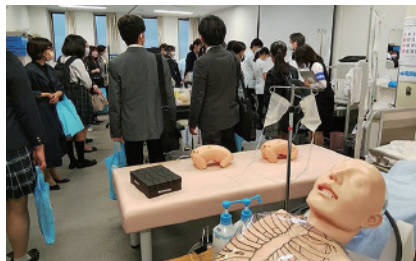


日本医科大学への推薦入学制度

●日本医科大学進学

早稲田大学本庄高等学院と日本医科大学は、相互の教育分野に係る連携・交流を通じて、学院生の進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学教育・高校教育の充実、活性化を図ることを目的として、協定を結びました。この一環として、本庄高等学院から毎年2名の生徒を日本医科大学学校型選抜に推薦できることになりました。

推薦入学生は、本庄高等学院独自の選考と、日本医科大学独自の選考との2段階を経て決定されます。



先輩からのメッセージ



日本医科大学推薦入学

2023年3月卒業
日本医科大学医学部
医学科3年

久保田 美紀

私は、大久保山の緑豊かでのびのびとした環境と、受験勉強にとらわれない幅広い学びに魅力を感じ本学院を選びました。大学を見据えた質の高い選択授業は種類が豊富で、幅広い知識を得ることができます。広範な視野をもって自らの知的関心や適性に合った進路選択を行えることは、本学院のとても大きな強みであると感じています。

私は在学中に親族の手術とコロナ禍を経験したことで、医師として社会に貢献したいと考えるようになり、日本医科大学への進学を決意しました。本学院で得た知識や様々な経験が、自ら考え自ら行動する力となり、大学での学びに活きていると感じています。

高校生活を通し、多種多様な仲間と出会うこともできました。本庄高等学院で過ごした日々は、今の私を形づくるかけがえのない財産です。

学部生・大学院生からのメッセージ



学部進学

2023年3月卒業
早稲田大学 政治経済学部
経済学科 3年

山口 彩

本庄高等学院には、多様な価値観に触れつつ、自分の得意分野を更に伸ばす機会が溢れています。授業・部活動・課外活動など、学院生活のどこかに必ず生徒全員が輝く場所があり、生徒1人ひとりの個性を尊重してくださる先生方のおかげで、さまざまな学びを得て成長することができました。

私は学院生時代、応援部に所属し、人を動かす立場の大変さや活動運営の難しさを学ぶと共に、人との円滑なコミュニケーションにおいて大きく成長することができました。現在は、早稲田大学応援部の一員として仲間と共に様々な活動を運営し、さらなる自己研鑽に励んでいます。

本庄高等学院は、人生において大切なことを肌で感じながら学ぶことができる環境が整っています。皆さんも、本庄高等学院でしか味わうことのできない、濃い3年間を過ごしてみませんか。



大学院進学

2021年3月卒業
早稲田大学 基幹理工学部 情報通信学科
東京農工大学大学院 工学府
知能情報システム工学専攻

松本 和樹

大学院は「難しい勉強をする場所」と思われがちですが、実は「研究を通じて、世界の誰も知らないことを明らかにする場所」です。今振り返ると、本庄高等学院で好奇心の赴くままに過ごした3年間は、私の大学院生活の礎となっています。

本庄高等学院での卒業論文をきっかけにAI技術に魅了された私は、早稲田大学で工学の知識を深めました。その後、自らの興味をさらに追求するために他大学の大学院へと進学しました。現在は音楽や音声通話など「音」に関する身近な課題を、「数学の力」で解決すべく研究に励み、その成果を国際会議や学術論文を通じて発表しています。本庄高等学院で出会った学友たちも、さまざまなフィールドで最先端の研究に挑んでいます。

キャリアデザイン講座・キャリアデザインウィーク

本学院は進路指導を重視しています。学部の先生による説明会やキャンパスツアー・オープンキャンパスの他に、より学院生から近い視点で学部を理解するために、現役の大学生を招いての説明会も開催しています。

同時に、将来の自分に向き合い、そこへ至るためにはどのような学部選択をすべきなのかという視点を持つてほしいと考え、各界で活躍する卒業生をお招きし、自分の仕事の魅力について話してもらうキャリアデザイン講座を月1回開催しています。また、9月2週にわたり、水曜日土曜日に学部の先生による最先端の研究内容紹介、卒業生による仕事の紹介を行うキャリアデザインウィークを集中的に開催しています。

本学院の進路指導がミスマッチのない学部選択と将来の夢実現につながることを期待しています。

特別講座「留学のススメ」

本学院生徒、保護者を対象に、早稲田大学国際部による留学説明会をオンラインで開催しています。本学国際部国際課担当職員から、早稲田大学における留学制度の紹介、直近の派遣留学の状況や、新たに実施されているオンラインプログラム等について説明をします。オンラインによる留学先授業の事前履修、オンライン国際交流や世界中の大学生とテーマスタディを共同受講する取り組みなど、新しい形の国際交流・学びへの取り組みを紹介します。加えて、本学院生および留学中の卒業生が現地よりオンラインで留学の魅力や苦勞、留学に至るまでの手続きを紹介します。

留学が当たり前のこととなりつつある中、学院生が留学生生活をより具体的にイメージしながら学院生活・大学生活を送ることを期待しています。

社会人からのメッセージ



世界で奮闘した経験が生んだ夢への「推進力」

2018年3月卒業
早稲田大学大学院 基幹理工研究科
機械科学・航空宇宙専攻

花田 知優

本庄高等学院での海外の学生との共同研究はとても刺激的で、私を大きく成長させてくれました。1年次、初めての海外交流では、英語での意思疎通がほとんど図れず、自身の力不足を痛感しました。しかし、数々のプロジェクトで生の英語に触れ、諦めずにその時自分にできる表現で伝える努力を続けました。その結果、3年次には国際交流プロジェクトのリーダーや、文科省への英語での研究発表を任されるまでになりました。本学院で培った、アウェーの環境にも積極的に飛び込みホームに変える力、プロジェクトチームを率いる力は、大学受験を飛び越えた、社会で必要とされる能力に直結すると強く感じています。

大学の研究では、国際宇宙ステーションにて浮遊金属の溶融凝固実験を行いました。失敗の許されない大規模ミッションを主体となって進め成功させられたのは、本学院で様々な状況に柔軟に対応しチームを率いた経験があったからだと思います。また、大学時代にボランティア留学に興味を持ち、自ら調べ1人で挑戦できたのも、本学院での経験と自信が背中を押してくれたからです。

学生時代の功績が評価され、現在は幼少期からの夢であった宇宙開発業界で働いています。本学院での学びを生かし、国際的に活躍できる技術者になることが今の目標です。

アントレプレナーシップ教育プログラム

アントレプレナーシップ教育(以下アントレ教育)とは、他者との協働作業を通し、身の回りの解答のない問題を解決する資質や技術を身につけるためのプログラムです。よく「起業家教育」と狭義に解釈されますが、起業は問題解決のための1つの方法に過ぎません。本学院では、将来世界をステージとして地球上の困難な問題を解決する人材育成を目標として、アントレ教育を推進しています。

2024 年に実施した主なプログラムを以下に紹介します。

◆地域創生ワークショップ@本庄

8月に本庄セミナーハウスに一泊し、早稲田大学附属係属校・早大生がチームを組み、本庄市役所の方をメンターとし、本庄市の町おこしのアイデアを競いました。

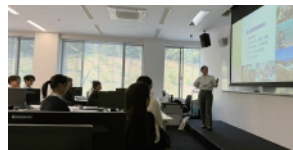
◆スタンフォード大学d-school講師によるデザイン思考ワークショップ
10月にスタンフォード大学d-school講師3名によるデザイン思考(サービスや製品のアイデアを分析するための思考方法)ワークショップを開催しました。チームに分かれてバナナをテーマにした課題に取り組みました。

◆「高校生ビジネスアイデアグランプリ」および「早稲田大学系属・附属校ビジコン」の入賞者等 成果報告会

早稲田大学アントレプレナーシップセンターで、今年度の日本政策金融公庫主催高校生ビジネスプラングランプリ100位以内に入った附属係属校生が多かったことを受け、その成果を改めて発表し、今後の附属係属校のアントレプレナーシップ教育に役立てることを期待して行われました。



日本ビジネスアイデアグランプリ(日本政策金融公庫主催)の最終選考会



キャリアデザイン講座



Stanford d-school終了後の記念写真



本庄市での地域創生ワークショップ



「端緒」に満ちた学院の環境と生活

1990年3月卒業
早稲田大学 理工学部 建築学科 卒業
早稲田大学大学院 理工学研究科 修士
早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授

田中 智之

大学入試のない3年間では多彩なことを学ぶと同時に、自分は何がしたいのかを問う日々でした。一応理系に身を置きつつも芸術や文学にも関心が高い自分には何ができるのか。個性的な校舎空間、独特の時間が流れる芸術棟と美術の先生との出会いなどを通じて、自分はデザインや表現に関心があり、向いているのではないかなと思うようになり、結果的に建築学の道を選びました。卒業論文では建築に関するテーマは掲げられていませんでしたが、無理を言って国語の先生にお願いし、都市空間デザインに関する論文を受理していただいた記憶があります。

僕が建築を志したきっかけは旧校舎の建築と美術の先生にあったように、本庄高等学院にはさまざまな「端緒」があると思います。大久保山という学校環境としては比類なき豊かな自然や生態、高い専門性を持ちつつも親身になって接して下さる先生方、帰国生をはじめとした多種多様な学院生、そして本庄児玉の地域文化など。これらは何かを始めるきっかけや、ものごとを解決する糸口を与えてくれることでしょう。つつい恵まれた環境に身を置いていることを忘れがちですが、時には良く観察し、捉え直してみることで新たな道や未来が拓けるかもしれません。

実践的な教育への取り組み

1 四季の移ろいの中で 人格と情操を育む

本庄市郊外、大久保山を中心とした広大な丘陵地一帯が早稲田大学本庄キャンパスです。ここには、セミナーハウス、本庄早稲田国際リサーチパーク、考古資料館、早稲田大学5番目の博物館である本庄早稲田の杜ミュージアムなど、早稲田大学の施設が点在しています。



水準測量実習

本庄キャンパスには、クリ、コナラ、アカマツなどの美しい林の中に、スミレ、ヤマザクラ、ヤマツツジ、ヤマユリなど季節の花が咲き、秋には形の面白いキノコも見られます。カブトムシ、クワガタ、タマムシ、タヌキ、ウサギ、キジなど多種多様な動物が息する豊かな里山環境が広がっています。また、市内有数の桜の名所であり、大小の円墳・前方後円墳が点在する遺跡の杜でもあります。本学院では、このような環境を活用した授業、課外活動を積極的に実施しています。

美術の授業では、風景写生を実施しています。里山を凝視しそれを一枚の紙に写し取る過程を通じて、自然への理解を深めます。この取り組みは開校以来続く伝統となっています。生物関連の授業では植物や動物の観察法を実習しながら人間と自然との関係を学び、自然との向き合い方を考えます。地学関連の授業では広いキャンパス内で地球の大きさを測る実習を行っています。水準測量による丘陵の高低差測定、コンパスを使った地図作製、キャンパスの気温・湿度マッピングなど、キャンパスの地勢を最大限に活用した授業を実施しています。



風景写生

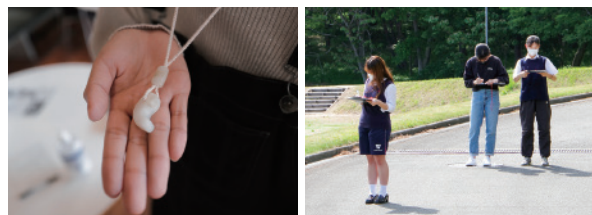
キャンパスの気温マップをつくる

歴史関連の授業ではキャンパス内に点在する古墳を利用することがあります。キャンパス内の畑で農作物を育てる授業もあります。2年次の総合的な探究の時間「大久保山学」では、このキャンパスをテーマとした学期毎に異なる科目を組み合わせた8通りのコースから1つ選び、探究の深め方について学び、自身のテーマを発展させます。

卒論のテーマとして本庄キャンパス周辺に生息する生物や植物を扱う生徒がいます。宇宙線を利用してキャンパス内の古墳の非破壊調査を行うなどのプロジェクト活動も行われています。また、同キャンパス内にある本庄早稲田の杜ミュージアムで学院生が学芸員の見習いを体験する連携活動も行われています。

皆さん、想像してみてください。今時、大音響でBGMや実況放

送をしながら実施する体育祭や文化祭を行える高校がどこにあるでしょうか？珍しい鳥の鳴き声や草花を当たり前と思い、時折顔を見せるタヌキやキジを珍しいと思わなくなる高校がどこにあるでしょうか。四季の移ろいを感じながらのびのびと送る3年間の学院生活、黒板や本の上での話題ではない実体験として学ぶ授業や課外活動は、きっと人格や情操の形成、さらには将来の大学生活や仕事に大きな影響を与えることでしょう。



本庄早稲田の杜ミュージアムでの子どもたちへの勾玉作りワークショップ

地図作製

残念ながら、その影響は例えば、英会話力やスポーツの技術のように、目に見える即戦力として現れません。皆さんの考え方や振る舞いの中にさりげなく現れる程度のもです。自分の部屋にお花を飾ってみたり、動物や考古学が以前よりも少し好きになったり、ハイキングで花やキノコ、虫の見分けが少してできるようになったり、その程度かもしれません。しかし、その程度のことが、長い人生で考えたとき、皆さんの日常生活の彩りにつながります。自然保護や環境破壊に一層、問題意識を持つようになるかもしれません。実は、それが皆さんの人生を豊かで意義深いものにするのです。さらには、将来の方向を決定づけるかもしれません。



地球の大きさを測る

学院生からのメッセージ



東城 諒汰 [3年]

所属部活動
陸上競技部

私の周りには海外経験を持つ人や課外活動に積極的に参加する人など、多様な友人がいます。また、大久保山学や選択科目、卒業論文、キャリアデザイン講座などを通して、興味のあることに没頭することの喜びを味わっています。

自然豊かなこのキャンパスでは、「何を学びたいのか」「どんな経験をしたいのか」、そして「どんな人間になりたいのか」を考え、それに向かって自ら選択する力を養うことができます。

私の夢は多くの人を導けるリーダーになることです。陸上競技部の部長として、文武両道に励みながら刺激的な毎日を送っています。

自由でのびのびとした青春を楽しみながら、理想の自分に向かって自分の意思で挑戦を重ねる。本庄高等学院にはそんなチャンスが広がっています。

2 社会と連携 学びの場を広げる

本庄高等学院で過ごす生活は、地域の人々の輪に加わり、地域と社会の問題の現場に足を運びながら、世代や立場を超えた多くの人と触れ合う貴重な時間です。学校の外の様々な場に学びの機会を求めることで、学院生は人間・社会・自然に対する感性を磨き、広い視野と見識を持った人間として成長します。

各教科の授業や課外活動では、多種多様なフィールドワークが行われます。例えば、3年次選択科目「地理学演習」の授業では、大久保山周辺の実地調査を行います。新旧の地形図や統計データを用いた実習を行い、学院周辺地域の特徴とその変化を把握します。それら事前学習を踏まえて、大久保山の地形や植生、土地利用を実際に歩きながら観察します。座学では得られない様々な事柄を発見しながら、身近な風景の成り立ちや人々の暮らしについて学習します。3年次選択科目「情報Ⅱ」では、「本庄市に道の駅を作ろう」というプロジェクトを通して、市役所の説明・起業のプロの方の指導を受けながら、本庄市の現状と問題の分析を基に経営戦略を検討し、印刷メディア・Webを含めた効果的な情報発信を考えます。



地理学演習

早稲田大学法廷教室での模擬裁判

現代社会の諸課題にも正面から取り組みます。各国の大使となって国際会議での交渉と決議採択を目指す「全日本高校模擬国連大会」に、有志生徒が例年出場しています。当事者の状況に思いを巡らせ、急に準備した発言を交わし合うことで、問題の構図に分け入るとともに、そこに生じる責任の深さも実感します。課外で参加する「高校生模擬裁判選手権」では、本学院出身弁護士を招いて指導を受けます。

学院生は、在学中に良き有権者へと成長します。国政選挙のたびの「模擬投票」も10年来続けています。本学院では、ただ投票を経験するだけでなく、学院生自身が自らの投票行動の特徴を多角的に分析・考察する機会となります。

大人たちが織り成す実社会に分け入り、対等に渡り合う。その経験から発案・企画したことが、学院全体でのプロジェクトとなり多くの人を巻き込んでまた社会へと動き出す。社会・地域との連携によるプログラムは、学院生が日頃の学習の成果を試し、社会の一員として自覚を深め、その中で自らの役割を見出していくための確かな土台を提供します。



高校生模擬裁判選手権

全日本高校模擬国連大会

本庄高等学院は、地域や本庄市との連携を積極的に行っています。地域小学校で科学教室・チアダンス・茶道教室などの総合学習や国際交流支援の講師、本庄市生涯教育プログラムである市民総合大学や「こども大学ほんじょう」の講師を学院生が務めています。本学院独自の子ども向け科学教室、英語に親しむWaseda English Kidsも開催しています。また、地域企業との連携プログラムも進めています。地域ラジオ局である「ほんじょう FM」との連携で、木曜日夕方5時～5時45分の番組「くまごじ」のパーソナリティを学院生が務め、本庄市の隠れた魅力を視聴者に届ける試みをしています。



本庄市民総合大学茶道教室

小学校プログラム、応援部による「チアダンス教室」



Waseda English Kids

JAひびきのとの連携活動（農家訪問）

身の周りの問題から地球が抱える大きな問題に至るまで、解決すべき課題のほとんどは頭の中で考えたようには解けません。最適な答えの見つからない問題も多く存在します。このような、学校の枠に収まらない現実の社会における活動を通し、多くの学院生が自らの経験を広げることを期待します。

現実の社会を知ること、何が問題なのかを分析し、より良い持続可能な社会を作る強いモチベーションと社会の様々な人たちと協働し意思決定をする事、その決定と結果には誇りと責任を持つ姿を身に付けて欲しいと思っています。

学院生からのメッセージ



岩脇 百花 [3年]

所属部活動
演劇部、陸上競技部(マネージャー)
ワンダーフォーゲル部

参加プロジェクト
JA ひびきの連携プログラム、本庄早稲田の杜ミュージアムとの連携プログラム
韓国研修、新七高祭、International Volunteer- 小学校国際理解ボランティア

私が参加したプロジェクトの中で、特に思い出深かったのが「七高祭」です。私のチームは児玉地域でフィールドワークを行い、魅力を発信するスライドやパンフレットを制作しました。自分のアイデアを市の職員の方のサポートを受けつつ実現することができました。地域の方の温かさに触れたことや新たな仲間に出会えたことは机で授業を受けているだけでは得られない貴重な経験でした。また、自分で企画し、運営していく体験は自信に繋がるだけでなく、将来に渡って役に立つ力になると思います。本学院に入学したら、他の高校ではできない挑戦をたくさんしてください。それが未来の自分の土台となるはずです。

実践的な教育への取り組み

3 世界の人々と協働できる人間を育てる

「ダイバーシティ」「多様性」「多文化共生」という言葉を日常的に耳にします。本庄高等学院ではこれらの言葉を大切にしています。なぜ大切なのか、真剣に考える機会となるのが国内外の高校生との交流です。国際情勢や環境問題、人権に関わる様々な課題について異なる場所に住み異なる習慣や文化を有する仲間とともに考え、多角的な視点から粘り強く話し合いを重ねる経験は多感な高校時代においてとても重要です。

国際交流では互いに行き来してその地域の文化を五感で感じることに勝るものはありませんが、一方でコロナ禍中に普及したオンライン交流には誰でもどこにいてもすぐに会える、大きな強みがあります。アフターコロナとなる2023年以降、コロナ禍以前の対面交流の復活とオンライン交流の良さを合わせた未来型の国際交流を目指しています。



Hana Academy Seoul短期留学



Korea Japan International Youth Forum 2024

2024年7月には、韓国テジョン市のSaeronam Christian Schoolを学院生が訪問し、Korea Japan International Youth Forum 2024を実施しました。2021年から2023年までは、両校で混成チームを作り、持続可能な開発目標(SDGs)に関するオンライン共同研究に半年間取り組み、オンライン発表会を行なっていました。初めて対面でのシンポジウムを実現することができました。2025年度は本庄学院を舞台に、両校で日韓学術交流サマーカー

留学生からのメッセージ



呉 英齊
(ゴ・エイサイさん)
出身国 台湾

学院で過ごした1年間の留学生活は、私にとって「自分らしさ」を見つけるきっかけになりました。「自ら学び、自ら問う」という校训のもと、留学生としても学院の雰囲気になじむことができました。

授業ではペアワークや話し合いの機会が多く、自分の考えを伝えるだけでなく、他人の視点もたくさん理解することができました。また、キャンパス内の学びにとどまらず、学院生と一緒に本庄市内の小学校を訪れて、英語を用いて母国のことを紹介する経験もいただきました。このような経験を通じて、社会に貢献できたことを実感し、「学生」という枠を超えて「社会の一員」としての自覚が芽生えました。

3年生の選択授業では、自分の関心に沿った科目を選ぶことで、より充実した学びを得ることができました。私は現代社会論や日本古代・中世史など、文系の授業を中心に受けています。「国家」の定義と現実について考察したり、考古資料を観察して用途や時代背景などを推測したり、日頃の学びを深めながら、知識を応用する力を養うことができました。

この1年間でたくさんの学びと貴重な経験をさせていただき、学院の皆さんには心から感謝しております。

(呉さんに日本語でメッセージをいただきました。)

ンプを7月に開催します。5月にはMOUを締結いたしました。

韓国のHana Academy Seoul(HAS)との間では、毎年HAS主催のHana International Symposiumに招待参加していましたが、昨年度よりコロナ禍以前に実施されていた相互短期留学を再開することができました。



Hana International Symposium 2024

Kia Ora NZ短期留学プログラム

本学院には1年遅れで復学する「第一種留学」と、一定の条件を満たした場合、留学中の成果を本学院の単位修得とみなし1年遅れとならずに復学できる「第二種留学」の二つの制度があります。この制度を活用し、2024年度は3名の学院生が海外で学びました。また、本学院はEducation New Zealandと留学に関する協定を結んでおり、2023年3月より短期留学プログラムKia-Oraプログラム(Kia-Oraとはマオリ語で「こんにちは」の意味)がスタートしました。春休みと夏休みに2週間～3週間実施されます。

本学院は「高校生アジア架け橋プロジェクト」や「台湾高校生日本留学生事業」等での長期留学生受け入れ校となっています。留学生は通常の授業や部活動に参加するだけでなく、学校内外の文化紹介企画や在校生との共同学習企画への参加を通じ、多角的な学びへの刺激を互いに与え合う存在となっています。

世界は地球温暖化、自然環境の悪化、人口爆発、食料や水不足、国同士の紛争など、多くの解決困難な問題を抱えています。皆さんはこれらの難問に苦しむ地球を救うために、世界の人々と協働し、解決しなくてはなりません。本学院における3年間で、そのために必要とされる、問題意識、世界の人々とコラボレーションできる力とリーダーシップ、必要とされる科学技術や政治・経済・法律・倫理の基礎知識を身に付けて欲しいと思います。

学院生からのメッセージ



野崎 葵 [3年]
参加プログラム
イギリス研修、台湾との共同研究、タイ研修、
International Student Science Fair 2025
所属部活動
ソフトテニス部

この2年間、海外校との交流や共同研究、国内外のサイエンスシンポジウムに参加し、他国の高校生とのディスカッションやホームステイ等を通して、異文化同士の「当たり前」が混在するような世界に飛び込める経験をたくさんさせていただきました。その国の「当たり前」が分かるとその国の物事の考え方や見方まで理解できるような気がして、その実感が好きで、気づけば何度もプログラムに参加していました。共同研究校のバディたちとの話し合いに行き詰まったあの時、お互いを理解していたからこそ、焦らず言葉を探して思いを伝えようと頑張りがえた仲間たち。ずっと一緒に過ごして大号泣でお別れしたあの日。今でも1秒1秒の思い出が鮮明に甦るくらい、私にとって新鮮で大切に、一番と言っているほど失いたくない思い出の財産ができました。

早稲田本庄では、好きなだけ沢山の世界に踏み出せるし、好きなだけ思い切り頑張れます。ぜひ本学院に入学し、未知の世界を切り開けるような素敵な3年間を送ってください。

4 科学技術への理解力と探究心を育む

多様でグローバルな科学教育活動は本学院の大きな特徴の1つです。

◆国際的なステージで活躍できる科学技術者の育成を目指して

本学院における科学教育プログラムの特色は、第一に早くから国際的なフィールドで活躍できる人材育成を意識して交流校を作り、海外の研究発表の場に積極的に参加してきた点にあります。定期的な交流を重ねるMahidol Wittayanusorn School(MWIT)、台湾の台中市立第一高級中学、韓国の安養外語学院、中国の蘇州中学等多くの海外校との関係を作ってきました。これらの学校とのネットワークの中で国際高校生シンポジウムを独自に開催し、多くの生徒に国際的な研究発表の場を経験させる努力をしてきました。また、MWITが主催する世界最大規模の国際シンポジウムであるThailand International Science FairやHana International Symposiumなどの国際シンポジウムに参加する機会を作っています。これらの場合は、探究活動における成果発表の目標として位置付けるとともに、世界の同世代の高校生と議論を交わす貴重な機会となっています。



International Collaborative Research (台湾研修)



International Student Science Fair 2025

◆教えることを通して学びを深める

第二の特色は、長く継続される多様な連携活動や地域貢献活動です。2009年度より本庄市内河川の環境調査・環境改善活動を行っています。2012年度からは市内小学校と年2回一緒に行う小山川・元小山川の合同河川調査の他に、児童たちが環境と科学に親しめるような総合学習の指導を学院生が行っています。この地道な活動が評価され2022年度第11回毎日地球未来賞SDGs未来賞・彩の国埼玉環境大賞優秀賞など多くの賞を受賞しています。

地域の子供たちに向けた科学教室は、開校以来継続されており、現在も本学院独自開催のもの、本庄市主催の市民総合大学・こども大学と多彩な開催形態で学院生が講師を務めています。

このような活動を通して、教えることが学院生の学びの深まりにつながっています。



川の日ワークショップ関東大会での発表



いい川・いい川づくりワークショップ全国大会

◆卒業論文執筆に向けたアカデミックリテラシーの習得

本学院では全員が2年生後半から卒業論文に取り組みます。より良い論文作成を目指すために、情報の授業では論文リテラシーを含むアカデミックリテラシー習得に特化した展開をしています。2年次には総合的な探究の時間として「大久保山学」に加え、理数探究基礎の授業を行っています。プレゼンテーションやレポート・論文を課される授業も多く、これらの授業を通じて、独自の論文リテラシー教育、プレゼンテーションメソッドを開発してきました。学院生は在学中

に必然的にアカデミックリテラシーを身に付けていきます。

理系文系を問わず、卒業論文の秀逸なものは、積極的に対外的なコンテストに応募し、対外的な評価を得る努力をしています。今まで多くの作品が学会の高校生部門で発表され、査読付きの論文誌に掲載されています。

◆学術的な興味と視野を広げる試み

学院生の科学への興味のきっかけづくりを目的として「これがサイエンスだ!」という独自の取り組みを行っています。ここでは、学院教員の専門を活かした年10回ほどの課外講義に加えて、夏休み・冬休み・春休みに理科や数学のテーマについて議論理解を深めあうことを目的とした合宿を実施しています。これとは別に、文理の垣根を超えた学際研究の実践として早大考古資料館・本庄市・学外研究機関と連携し、宇宙線やレーダーを利用した古墳の物理調査を行うほか、人間科学部と連携し、人間工学に関する測量や実験を体験するプロジェクトを定期的に開催しています。



これがサイエンスだ! (春合宿成果発表会)



これがサイエンスだ! (夏合宿、古墳班)



こども科学教室



宇宙線を用いた古墳の非破壊検査

国土が狭く天然資源が乏しい我が国の未来を占うカギの1つは、国際性及び科学技術の教育にあります。他国の生徒と議論できる英語力、基礎的な知識と高い創造性及び倫理観に裏付けられた科学技術への探究心を持った人材の育成が急務です。同時にこのような人間こそが、本学院が育成しようとしている科学技術人材です。

学院生からのメッセージ



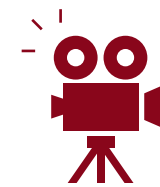
内藤 健心 [3年]
所属部活動
スーパーサイエンスクラブ

身の周りから多様な刺激を受けることは、自らを深め、成長するために必要なステップのひとつです。本学院は、そのために最適な環境を与えてくれます。

私はさくらサイエンスプログラムにて、アルゼンチンの学生と素粒子実験に取り組みました。専門家の方々との対談を通じて、科学考察と国際交流の貴重な経験を得ました。また、子ども大学ほんじょう科学教室での地域の小学生とふれ合いを通して、知識の蓄積にとどまらず、対話の大切さに気付くことができました。さらに、「これがサイエンスだ!」の講義では、多様な学問分野に触れるだけでなく、先生の各々の研究にかける情熱を感じ、将来へのビジョンを深めることができました。これらすべての経験を卒業論文執筆に役立てており、実践的な学びへと繋げています。

本学院は恵まれた環境のもとで、ウィットに富んだ仲間と共に自らを高められる、皆さんにとってかけがえのない経験を与えてくれると信じています。

キャンパスマップ



広大な敷地と豊かな自然、
充実した施設をドローン
映像でお届けします！

MOVIE



①稲稜ホール棟

2015年に竣工した稲稜ホール棟には、428座席を備える稲稜ホール、図書室、音楽室があります。図書室は、高校の図書室としては、トップレベルの蔵書数を誇ります。また大学図書館蔵書の検索用端末も設置され、卒業論文作成などに利用されています。
●蔵書数:図書約13万冊



②体育館

2020年に竣工した体育館の1階には、卓球や剣道などに利用する多目的室やトレーニングルーム、講義室が配置されています。2階のメインアリーナは約1,440㎡と、バレーボールコート3面分、バスケットボールコート2面分を展開できる広さを有します。また、3階部分には、ランニングコースが整備されています。この体育館は体育の授業、部活動の他、集会など様々な用途に利用されています。



③校舎



普通教室

ゼミ教室

情報処理教室

CALL教室

美術室

理科実験室

個人用ロッカー

家庭科調理室

食堂

売店

保健室

カウンセリングルーム

校舎

校舎全景

⑨本庄早稲田の杜ミュージアム



2020年に開館した本庄市と早稲田大学が所蔵する文化財を共同で展示するミュージアムです。笑った表情をした盾持人物埴輪など本庄市内出土の考古資料と映像・年表から本庄の歴史を辿るほか、早稲田大学の貴重な所蔵品を企画展示しています。
■開館時間／9:00～16:30
■休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/28～1/3）
■入館料／無料



校舎内には多数の絵画が飾られています。日ごろから美術作品に親しんでほしいという思いが込められています。
(写真は「サンソヴィーンが語る日」蔵野 健 作)

⑧大隈重信像



キャンパス内には塚本山古墳群があり、100以上の古墳が見られます。考古資料館を活用した教育を行っています。

④テニスコート



⑤サッカー場



⑥グラウンド



⑦野球場



野球場、陸上競技場・ラグビー場、サッカー場、テニスコートなど各種目専用のグラウンドを完備しています。

スクールバス

電車の発着および授業の始業と終業に合わせて運行しています。発着駅、所要時間は表の通りです。



発着駅	所要時間
本庄駅南口	約13分
寄居駅北口	約30分
松久駅	約20分

クラブ活動

クラブ活動



文化部門一覧 ※2025年5月現在

■文芸部 ■地学部 ■スーパーサイエンスクラブ ■美術部
■グリークラブ ■プラスバンド ■ESS ■写真部 ■囲碁・将棋部 ■軽音楽部 ■ピアノ部 ■地歴部 ■数学研究会
■競技かるた部 ■化学部(休止中) ■クイズ研究会(休止中)
■演劇部 ■映画部 ■書道部 ■政治経済部 ■落語研究会(休止中) ■茶道部

※1 2025年度末に廃部(新入生の入部は受け付けていません。)

※公認団体として本学院にない競技等については、入学後に本学院名を用いて連盟等の団体に登録することはできません。
本学院の教員による引率や学校生活における配慮もできません。

プロジェクト活動一覧

- 附属連携プロジェクト…早稲田大学高等学院と一緒に学院生活を充実させるプログラムの検討を行います。
- 国際交流プロジェクト…海外の高校との交流、国際シンポジウムへの参加を行います。
- 地域連携プロジェクト…地域の子供たちへの授業、地域内の高校生との協力活動を行います。
- 企業連携プロジェクト…地域局(ラジオ)のパーソナリティ、企業イベントへの協力などを行います。

書道部



菊池 優羽 [3年]

「字は人なり」というように、書かれた文字には、その人の心や思いが映し出されます。スマホやパソコン、AIが当たり前の時代に、あえて筆を執り、一画一画に思いを込める時間。そこには、書道だけが持つかけがえのない価値があります。

古くから人は筆に思いを託し、時代を超えてきました。そして今、私たちもまた、紙の上に自分という存在を刻んでいます。

受験生の皆さん、これから本学院で出会う部活動や仲間、挑戦の一つひとつが、きっと皆さんの生活を彩っていきます。自分の「好き」を信じて、夢中になれるものを見つけられるといいと思います。皆さんが、爽りある温かい青春を過ごせることを、心から願っています。(本学院案内表紙の題字は菊池さんの作品です。)

運動部門一覧 ※2025年5月現在

■陸上競技部(男女) ■サッカー部(男) ■ラグビー部(男)
■硬式テニス部(男女) ■ソフトテニス部(男女) ■硬式野球部(男) ■バレーボール部(男) ■バスケットボール部(男女)
■剣道部(男女) ■卓球部(男女) ■バドミントン部(男女)
■ワンダーフォーゲル部(男女) ■応援部(男女) ■自転車部(男) ■スキー部(男女)※1

硬式野球部



田中 柊成 [3年]

皆さんは「夢中」になれることがありますか。

「夢は目標までの道のり、一生懸命目標に向かっていく時こそが夢そのもの、夢中なのだ。」これは私が感銘を受けた言葉です。私が所属する硬式野球部は、甲子園出場を目標に一瞬一球を大切に練習に励んでいます。私にとって仲間と甲子園を目指しているまさに今が「夢中」なのです。本学院には勉強のみならず部活動においても「自ら学び、自ら問う」環境が整っています。多様な考えや経験をもつ仲間と高め合う環境は学びが多く、学びを経て自分と向き合い問い質す毎日

は野球のみならず人としても成長できる時間となっています。ぜひ広大な可能性をもつ本学院で「夢中」になれることを探してみませんか。



学院生の生活



藤崎 幹大
[2025年3月卒業]
所属部活動 (在学時)
男子硬式テニス部

◆4時限まで授業のある日の1日

6:30	7:00~	9:10~13:10	13:15~	15:30~20:00	20:30~	22:00~	22:00~23:30	24:00
起床	登校	授業	下校	学外活動 (クラブチーム)	夕食	入浴	学習時間	就寝

◆学院生活

本庄高等学院での3年間は、「文武両道を実現したい」という私の思いを叶える、まさに理想的な環境でした。

私が所属していた硬式テニス部は、練習メニューを生徒自身が考案するなど、主体性を重んじる運営が特徴です。私は学外のテニスクラブでの活動も取り入れながら、幼い頃からの夢であった全国大会出場を目指して日々鍛錬に励みました。先輩・仲間・後輩に支えられ、団体戦では3年間すべての代で関東大会に出場、個人戦でも3年次にインターハイベスト8という目標を達成し、進学後も体育会で競技を続ける大きなきっかけとなりました。これは、「自ら考え、行動に移すことができる環境」が整っている本庄高等学院だからこそ、成し遂げることができたのだと実感しています。

同時に、さまざまな背景を持つ仲間との日々刺激を受けながら、学院ならではの多彩なプログラムにも意欲的に取り組みました。学年の枠を超えて盛り上がる稲穂祭、社会で活躍するOBOGによるキャリアデザイン講座、そして2年次から始まる卒業論文など、他にはない貴重な経験が得られました。また、本学院の卒業生は全員が早稲田大学への進学を保障されており、高校での学びを大学生活へと円滑につなげることができます。

ぜひ本庄高等学院で、「自ら学び、自ら問う」という理念のもと、かけがえのない3年間を過ごしてください。

◆卒業論文のタイトル・テーマ

テニス競技の過去と現在の分析
一「技」の進化から考えられる今後のテニス界一

◆通学方法

自宅→浦和駅→(JR高崎駅)→本庄駅→
(スクールバス)→学院
所要時間:約2時間

◆進学学部

早稲田大学 創造理工学部 総合機械工学科



大塚 麗 [3年]
所属部活動
ソフトテニス部

◆6時限まで授業のある日の1日

6:00	6:50~9:00	9:10~15:40	16:00~18:20	18:30~20:30	20:40~	21:30~	22:00~	24:00
起床	登校	授業	部活動	下校	夕食	入浴	学習時間 自由時間	就寝

◆学院生活

私は早稲田本庄高等学院に入学して以来、素晴らしい先生方との出会いや切磋琢磨できる友人たちとの日々の学びに加え、「最高の学習環境」と「無数のチャレンジできる機会」があるこの学院に感謝し、誇りを感じています。

何より大久保山の雄大な自然に囲まれた圧倒的で広大なキャンパスは、何ものにも代えがたい魅力の一つです。登校時には、その豊かな自然から一日頑張ろうと思えるリフレッシュのエネルギーをもらい、下校時には友人たちとたわいもない会話を楽しみながら充実した一日を振り返ることができます。今や日常となったこの自然豊かな最高の学習環境に感謝しています。

また、本学院には国際・異文化交流や歴史・伝統・産業理解を深めるリアル体験型のプログラムが数多くあります。特に昨年度参加したシンガポール研修とタイ研修を通じて自分の将来の方向性を深く考えることができました。国境を超えて友情を育み、お互いをリスペクトする関係を築けたことは私のかけがえのない財産です。そして世界はもっと思いやりをもってつながり、共に発展していくべきだと身をもって感じました。

この経験を通じて、私には「将来、グローバルにインパクトを持って社会発展に貢献したい」という夢が明確になりました。まずはその第一歩として、今後も異文化に触れる機会に積極的にチャレンジしていきたいと考えます。

このように早稲田大学本庄高等学院には、自らが主体的に高校生活を創れるチャンスがあります。ぜひ皆さんもこの素晴らしい環境で自分の可能性に挑戦してみてください。きっと、かけがえのない出会いと成長が待っています。

◆参加課外活動

シンガポール研修2024
タイ研修2024
Stanford d-school workshop 2023,2024
WASEDA HONJO ENGLISH KIDS
JAひびきの連携プログラム
ほんじょうFM
HANA International Symposium2025
「これがサイエンスだ!」春合宿2024
International Volunteer 小学校国際理解授業

◆卒業論文のタイトル・テーマ

神奈川県三浦市におけるガストロノミーツーリズムの可能性

◆通学方法

自宅→(徒歩)→武蔵小杉駅→(JR横須賀線)→
東京駅→(上越北陸新幹線)→本庄早稲田駅→
(徒歩)→学院
所要時間:約2時間



学院行事

学院行事



4月 April

- 入学式
- 始業式
- 新入生ガイダンス
- 卒業論文
第1次中間報告
- 日本医科大学
キャンパスツアー

5月 May

- 生徒総会
- 中間試験
- 早慶戦応援
(東京六大学野球)

6月 June

- 体育祭
- 保護者会
- 学部説明会
(～10月まで随時)

7月 July

- 期末試験
- 夏季休業
(7月中旬～9月上旬)

9月 September

- 卒業論文
第2次中間報告
- キャリアデザイン
ウィーク

10月 October

- 3年修学旅行
- 1・2年学年行事
- 1・2年球技大会
- 中間試験

11月 November

- 稲稜祭
- 芸術鑑賞教室
- 生徒会役員選挙

12月 December

- 期末試験
- 冬季休業
(12月中旬～1月上旬)
- 保護者会
- 3年卒業論文提出

1月 January

- 3年学年末試験
- 3年推薦学部発表

2月 February

- 卒業論文報告会
- 入学決定者の集い

3月 March

- 1・2年学年末試験
- 終業式
- 卒業式
- 春季休業
(3月中旬～4月上旬)

※2025年度当初予定



入学式

例年、大隈講堂にて入学式を行っています。ここで、「ワセダの一員」として、新入生はそれぞれに大きな夢を抱きます。



始業式・対面式

新入生が本庄高等学院の仲間となる日に、始業式と対面式を行います。上級生から新入生にエールが送られます。



早慶戦応援

第1学年の行事として全員参加で神宮球場へ行きます。仲間と応援歌を歌い、一丸となって早稲田大学野球部を応援します。



体育祭

新緑の美しい時期に体育祭が行われます。



修学旅行

現在、台湾・韓国の2つのコースに分かれて行っています。(写真は韓国コースの様子)



芸術鑑賞会

外部の団体・個人を招へいし、年に1回芸術活動の鑑賞を行います。毎年、高い水準の文化活動に触れることで、豊かな教養を身につけます。



球技大会

サッカー、ソフトボール、バレーボールなどの種目で、1・2年生が優勝を目指して競い合います。



稲稜祭

生徒が主体となって企画・運営する文化祭です。体育祭と並んで学院生が最も熱くなる場です。



学年行事

秋には学年行事として様々な催しが行われます。(写真は新宿御苑への遠足)



卒業論文報告会

本庄高等学院の学びの集大成として「卒業論文」があります。この成果は報告会という形で、下級生へ引き継がれます。



卒業式

3年間の学院生活の締めくくりです。一人ひとりの卒業生が呼名され、高校生活の意味を振り返りながら、早稲田大学に巣立っていきます。

学院生からのメッセージ



生徒会長
越智 大功 [3年]

「自由と多様性」を大切にする本学院では、個性を尊重し、細かな校則もなく、誰もが自分らしく輝ける環境が整っています。本学院には様々な海外経験を持つ人、夢に向かって努力し続ける人、そして自ら学び自ら問う人が集まっています。そんな一人ひとりを応援し、支えてくださる先生方や仲間たちも揃っています。充実した環境のもとで仲間と切磋琢磨し、自らの知見を広げ、思い描く未来に力強く歩んでいきます。また、受験勉強に縛られず、部活動や課外活動にも積極的に取り組むことができ、仲間と共に笑い、涙するようなかけがえのない時間を送ることができま。本学院で過ごす青春の日々を心に刻み、自分だけの光り輝く学院生活になることを心より願っています。

生徒寮 早苗寮(男子)・梓寮(女子)

生徒寮



1982年の開校以来、遠方から入学を希望する生徒や、時間を有効に使いたいと思っている生徒、そして、親元を離れ自律心や協調性を身につけたいと思っている生徒などの為に、本学院は寄宿制度を設けてきました。

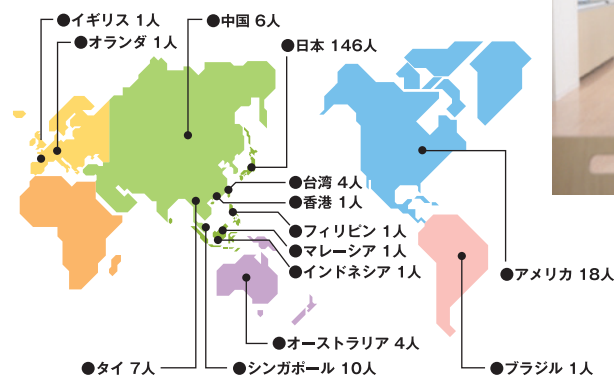
現在は、男子専用の「早苗寮」(JR本庄駅から徒歩3分)と、女子専用の「梓寮」(新幹線本庄早稲田駅から徒歩1分)があり、多くの生徒が共同生活を送っています。

それぞれの寮には寮長と寮母が常駐し、夜間や休日には警備員が巡回警備に当たり安心した生活ができる環境を作っています。また、教員は寮担任を中心に定期的に寮を巡回し、生活面や学習面のサポートを行っています。

朝夕の食事は栄養士が献立を作り、料理長が中心となって調理しています。部屋はすべて個室で、ベッド、棚、小型冷蔵庫、インターネット回線などを完備しています。

寮生には、楽しくも厳しい「本物の自由」を理解し、学院生としての自覚を持って主体的に日々の生活を送り、寮運営や寮の行事にも積極的に関わることが期待しています。

出身地域別寮生数(2025年4月現在)



早苗寮・梓寮に関するよくある質問

Q1. 入寮を希望すれば全員が寮に入れますか。

A1. 定員の範囲内で、通学時間や距離、その他の事情を総合的に判断して、本学院が入居者を決定します。2025年度入学の入寮希望者は男女ともに全員が入寮できました。

Q2. 学年の途中から入居することはできますか。

A2. 空室があれば可能です。

Q3. 食事はありますか。

A3. 食事は朝・夕の2食が提供されます。ただし、日曜・祝日と指定の休食日(お盆期間・年末年始など年間19日)はありません。

Q4. 部屋は個室ですか。

A4. 部屋はすべて個室です。室内には机(書棚・ワゴンつき)、ベッド(収納つき)、クローゼット、ミニ冷蔵庫、エアコンなどが完備されています。

Q5. 夏休みや年末年始にも寮にすることはできますか。

A5. 閉寮期間はありません。365日滞在可能です。

Q6. 外泊(帰省)はできますか。

A6. 週末や長期休暇中の外泊は可能です。事前に外泊願を提出してもらいます。

Q7. 友人や家族を寮内に招き入れてもよいですか。

A7. 寮生以外の友人や保護者を含む家族の立ち入りを禁止しています。

Q8. 管理スタッフは常駐していますか。

A8. 寮には常駐の管理スタッフとして、生活全般を見守る寮長・寮母の2名が住み込んでいます。

Q9. 学院の教員は住み込んでいますか。

A9. 常駐しませんが、巡回指導を行っています。また、寮生にはクラス担任とは別に十数人のグループごとの担当教員(寮担任)があり、定期的に寮を訪問して学習・生活指導をしたり、寮生からの相談を受けたりします。

Q10. 一時的に入寮することはできますか。

A10. 一時的な入寮はできず、原則として退寮は年度末になります。

寮生の1日

●猪俣さん(4時限まで授業のある日の1日)

7:20	7:40~	8:30~	9:10~13:10	13:20~	14:00~17:00	17:30~18:00~	19:30~	20:00~	23:00	
起床	朝食	登校	授業	昼食	部活動	下校	入浴	夕食	学習時間 自由時間	就寝

●川田さん(6時限まで授業のある日の1日)

6:30			7:00~		8:40~		9:10~15:40			16:00~		18:15~18:45~		19:30~		20:00~		22:00			
起床		朝食		登校・朝練		授業			部活動			下校		入浴		夕食		学習自由時間		就寝	

寮生からのメッセージ



猪俣 信太 [3年]

所属部活動
ラグビー部

私は、寮生活を通して自らの力で生活する能力を育むことができました。寮生活では、親元を離れて生活しなければなりません。最初の期間は大変かもしれませんが、寮生活を重ねていくうちに生活のリズムを整えることができ、規律のある行動や自律した生活が送れるようになりました。また、寮には海外や日本各地からさまざまな背景を持つ生徒たちが集まっており、異なる文化や価値観に触れる機会が多いです。互いのことを知り、尊重し合うことで、人間関係を築く力やコミュニケーション能力も大きく成長します。これらの経験は今後の人生において大きな財産になるでしょう。皆さんも私たちと共に早苗寮でかけがえのない充実した生活を送りませんか。



川田 彩矢香 [3年]

所属部活動
茶道部、
男子バスケットボール部(マネージャー)

寮生活を通して、私は協調性を身につけました。寮では、様々な考え方を持つ人々と共同生活をするため、思いやりや柔軟性が自然と養われます。また、普段学校では見られない友達の一面を知ることができたり、気の合う仲間がたくさん増えたりと、交友関係も広がります。親元を離れての生活でも、寮生の友達や先輩のサポートのおかげで、毎日楽しく過ごしています。テスト前や課題があるときには、寮生同士で教え合ったり、一緒に勉強したりすることで、お互いのモチベーションも高まります。また、自分たちで企画・運営するイベントを通して、絆を深められるのも魅力の一つです。みなさんも、梓寮で仲間とともに、充実した青春を過ごしませんか。

寮生を見守りサポートします

早苗寮 寮長・寮母メッセージ

初めて家族から離れ寮生活をされる子どもたち、最初は不安と期待でいっぱいだと思います。また、大切なお子様を送り出す保護者の皆様におかれましては心配は尽きないと思います。

早苗寮では、栄養士によるメニューを料理長が安心安全に提供している他、衛生面では清掃員が共有部の清掃を行い、気持ち良く寮生活を送れるようにサポートしております。また、管理においては決められたルールに則って子どもたちのサポートを行っています。子どもたちにとっていろいろな人と関わりながら集団生活をするという経験は自律心を育み大きく成長させる事でしょう。

私たちは子どもたちの成長を見守り、早苗寮での生活が実りのあるものになるよう3年間サポートしていきたいと考えております。

梓寮 寮長・寮母メッセージ

寮生活はさまざまな環境で育った人たちと集団生活をする場になります。自分と価値観の違う人と交流し、人間関係の作り方を学ぶことは、これからの人生で大きなメリットとなることでしょう。また、同じ境遇で生活する仲間同士で励ましたり、助け合ったりして深い絆もできます。

家族と離れての生活は大変な部分もあるかと思いますが、それは必ず自分の力になります。そして、3年間寮生活を送れば、自律心と生活力が身に付くはずです。

生活するうえで最も大切なものは、健康です。楽しく健やかに過ごすために、私たちは常に近くでサポートしていきたいと考えております。

2026 年度 入学試験概要 (2026 年 4 月入学者用)

国内生 「一般入学試験」と「 α 選抜(自己推薦入学試験)」は併願できます。

一般入学試験

■募集概要

募 集 定 員	男子：約95名 女子：約95名
出 願 期 間	2026年1月11日(日)～1月25日(日) [消印有効]
試 験 日	2月 9日(月) 国語・英語・数学(各50分)
合 格 者 発 表	2月14日(土)
学 費 等 納 入 締 切	2月16日(月)
入 学 手 続 申 請 締 切 日	2月16日(月) 16:00
書類等作成・提出締切日	3月 5日(木)

※詳細は入学試験要項をご確認ください。

■出願資格

以下(1) (2)のすべての要件を満たしている者。

(1)2009 年 4 月 2 日から 2011 年 4 月 1 日までに出生した者。

(2)次の(ア) (イ)のいずれかに該当する者。

(ア)日本国内の中学校あるいは中等教育学校(中高一貫校)の前期課程を、2026 年 3 月に卒業(修了)見込みの者、あるいは 2025 年 3 月に卒業(修了)した者。

(イ)(ア)に該当しない者のうち、2026 年 3 月までに国の内外を問わず通常の課程による 9 年間の学校教育を修了または修了見込みの者。

■入学検定料

30,000円

■入学試験場

早稲田大学早稲田キャンパス(東京都新宿区)

■選考

可否は試験の結果と出願書類(調査書等)をふまえ、総合的に判断します。

出身地別生徒数(2025年度) ※出身中学校の所在地別にカウント

●海外 合計 97人

アメリカ ……26人	香港 ……2人
シンガポール ……16人	オランダ ……2人
中国 ……11人	フィリピン ……2人
タイ ……9人	マレーシア ……2人
イギリス ……6人	インド ……1人
台湾 ……6人	メキシコ ……1人
インドネシア ……5人	ブラジル ……1人
オーストラリア ……3人	ヨルダン ……1人
ドイツ ……3人	

●東北 合計 11人

・福島県 4人
・青森県 3人
・秋田県 2人
・山形県 1人
・岩手県 1人

●中部 合計 13人

・新潟県 6人	・静岡県 2人
・愛知県 3人	・長野県 2人

●近畿 合計7人

・大阪府 2人
・京都府 1人
・兵庫県 1人
・奈良県 1人
・三重県 1人
・和歌山県 1人

●関東 合計 854人

・埼玉県 375人	・群馬県 55人
・東京都 286人	・栃木県 11人
・神奈川県 61人	・茨城県 8人
・千葉県 58人	

α 選 抜 (自 己 推 薦 入 学 試 験)

α 選抜は、優れた学力・体力を有し、かつ意欲的で努力を惜しまない、そして何よりも、早稲田大学への進学を強く志す生徒諸君を受け入れる試験です。文化・芸術の分野であられ、スポーツの分野であられ、語学や学問においても、一つのこと打ち込み、粘り強く努力を続け、何らかの成果を得た者には、そこに至る過程で身につけた「何か」があるはずで、本学院は、この「何か」を重んじます。 α 選抜は、「何か」すなわち「プラスアルファ」を有する生徒を受け入れることを目的としています。

■募集概要

募 集 定 員	男子：約30名 女子：約30名
出 願 期 間	2025年12月18日(木)～2026年1月5日(月)[必着]
第1次(書類選考)合格者発表	1月14日(水)
第 2 次 選 考	1月23日(金)面接
第 2 次 合 格 者 発 表	1月25日(日)
学 費 等 納 入 締 切	1月28日(水)
入 学 手 続 申 請 締 切 日	1月28日(水) 16:00
書類等作成・提出締切日	3月 5日(木)

※詳細は入学試験要項をご確認ください。

■出願資格

次の(1)～(5)のすべての要件を満たしている者。

(1)本学院を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者。

(2)国内中学校(学校教育法第 1 条に定める、日本国内の中学校もしくは中等教育学校の前期課程)に 2024 年 9 月以降在学し、2026 年 3 月に卒業・修了見込みであること。

(3)国内中学校でのすべての教科の学年成績(9 教科 5 段階評価)に 1 および 2 がない者。かつ、2 年次の成績が 9 教科 5 段階評価で合計 38 以上、3 年次(2 学期末まで)の成績が合計 40 以上であること。

(4)国内中学校での欠席日数の合計が 30 日未満である者。(ただし、けが・疾病等による長期欠席がある場合は、欠席日数の合計が 30 日以上でも出願を認めることがある。その事由が調査書に明記されていること)

(5)国内中学校在学中に、次の(ア)～(ウ)のいずれかに該当する者。

(ア)学校内外の諸活動により、文化・芸術・スポーツ等の分野で都道府県以上の大会またはコンクールに出場し、個人もしくは集団の一員として特に優れた成績をあげた。

(イ)資格試験・技能試験等で優れた成績・評価を得た。

(ウ)学業において総合的に極めて優秀であり、学校内外で積極的な諸活動を行った。

※帰国生認定を受けた受験生で、 α 選抜に出願した場合、帰国生入試には出願できず、一般入試にのみ出願可能となります。

■入学検定料

第1次(書類)選考:10,000円 第2次(面接)選考:20,000円

■第2次選考会場

早稲田大学本庄高等学院(埼玉県本庄市)

■注意事項

※公認団体として本学院にない競技等であっても、 α 選抜でアピールすることが出来ます。

※ただし、公認団体として本学院にない競技等については、入学後に本学院名を用いて連盟等の団体に登録することはできません。本学院の教員による引率や学校生活における配慮はできません。

※ α 選抜でアピールした活動を本学院入学後に継続する義務はありません。

帰 国 生 「帰国生入学試験」と「I 選抜(帰国生自己推薦入学試験)」は併願できます。

帰国生入学試験・I 選抜共通

※「帰国生入学試験」と「I 選抜」では入試日程等が異なりますのでご注意ください。

本学院は開校以来一貫して、早稲田大学を志す生徒を全世界から広く受け入れています。一人ひとりの個性を尊重し、確かな基礎学力の上に豊かな創造性と積極的な発信力を育む本学院の教育は、海外経験に支えられた帰国生のしなやかで逞しい適応力と語学能力に、より一層の磨きをかけます。さらに、世界各地の文化や生活を知る帰国生と日本全国から集まる生徒が互いに刺激し合うことによって、本学院は、生徒たちが未来の国際社会を見据え、豊かで深みのある価値観と人生観を醸成する場になっています。

■出願資格

次の(1)～(3)のすべての要件を満たしている者。

(1)2009 年 4 月 2 日から 2011 年 4 月 1 日までに出生した者。

(2)国の内外を問わず、通常の課程による 9 年間の学校教育を修了、または修了見込みであること。ただし、本学院が、中学校卒業と同等以上の学力があると認めた者についてはこの限りではない(その場合には、2025 年 12 月までの在学期間が明記された『在学証明書』を提出すること。また、2026 年 3 月まで継続して在学すること)。

(3)海外在学期間が次の(ア)、(イ)のいずれかを満たす者。

(ア)2023 年 4 月～2026 年 3 月における海外在学期間の合計が原則として 1 年 6 ヶ月以上であること。

(イ)上記(ア)における海外在学期間の合計が 1 年以上 1 年 6 ヶ月未満の場合は、2019 年 4 月～2026 年 3 月における海外在学期間の合計が 4 年以上であること。

※「海外在学期間」とは「保護者と同居している期間」を指し、本人個人の留学期間等は該当しません。

※海外現地校等における 9 年間の学校教育とは、例えばアメリカの Grade9、イギリスの Year10、オーストラリアの Year9 を指します。なお、例えばアメリカの Grade9、イギリスの Year10 に在学中で、2026 年 3 月末時点では修了しない場合でも、日本の中学校 3 年生の学齢に達している場合は基本的に出願資格(2)を満たします。

帰国生入学試験

■募集概要

募 集 定 員	男子：約10名 女子：約10名
出 願 期 間	2026年1月11日(日)～1月25日(日) [消印有効]
試 験 日	2月 9日(月) 国語・英語・数学(各50分)
合 格 者 発 表	2月14日(土)
学 費 等 納 入 締 切	2月16日(月)
入 学 手 続 申 請 締 切 日	2月16日(月) 16:00
書類等作成・提出締切日	3月 5日(木)

※詳細は入学試験要項をご確認ください。

■入学検定料

30,000円

■出願に必要な書類

(1)調査書・成績を証明する書類

海外の学校(日本人学校を除く)に在学したことがある場合は、その期間の成績を証明する書類(TRANSCRIPT、REPORT CARD 等)を保管しておいてください。詳細は、出願資格の認定通知の際にお知らせします。

(2)出願資格認定通知書

※「I 選抜」と併願する場合は、(1)～(2)の書類の提出は不要です。

■入学試験場

早稲田大学早稲田キャンパス(東京都新宿区)

■試験

国語・英語・数学の試験問題は、一般入試と同じです。選考は一般入試と別で行います。

■選考

可否は試験の結果と出願書類(調査書等)を踏まえ、総合的に判断します。

■出願資格の認定について

(1)申請方法

本学院WEBサイトの帰国生出願資格認定のページに掲載されている申請フォームより申請すること。
トップページ>受験生の方(学院説明会・入試情報)>帰国生出願資格認定
※申請に際しては、受験生本人(あるいは保護者)のメールアドレスおよび国内連絡先が必要となります。

(2)申請期間

2025 年 9 月 1 日(月)9:00 ～ 11 月 15 日(土)17:00

※日本時間

(3)結果通知

申請後、1 ヶ月以内にメールにて結果を通知いたします。

(4)その他

資格認定は「帰国生入学試験」と「I 選抜」の両方に適用されます。

I 選 抜 (帰 国 生 自 己 推 薦 入 学 試 験)

帰国生のための自己推薦入学試験制度です(「I 選抜」の「I」は「International」の頭文字です)。日頃の学業成績と英語力、基礎学力試験および面接の結果を総合的に評価して選抜する入学試験です。

■募集概要

募 集 定 員	男女：約20名
出 願 期 間	2025年12月18日(木)～2026年1月5日(月)[必着]
第1次(書類選考)合格者発表	1月14日(水)
第 2 次 選 考	1月23日(金)基礎学力試験(数学・国語、各30分)・面接
第 2 次 合 格 者 発 表	1月25日(日)
学 費 等 納 入 締 切	1月28日(水)
入 学 手 続 申 請 締 切 日	1月28日(水) 16:00
書類等作成・提出締切日	3月 5日(木)

※詳細は入学試験要項をご確認ください。

■出願資格

本学院を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者。

■入学検定料

第1次(書類)選考：10,000円

第2次(基礎学力試験・面接)選考：20,000円

■出願に必要な書類

(1)調査書・成績を証明する書類

海外の学校(日本人学校を除く)に在学したことがある場合は、その期間の成績を証明する書類(TRANSCRIPT、REPORT CARD等)を保管しておいてください。詳細は、出願資格の認定通知の際にお知らせします。

(2)帰国生海外生活調査書(『入学試験要項』にあります)

(3)帰国生出願資格認定通知書

(4)志望理由書

日本語による本人自筆のものとする。

(5)英語力を証明するもの(次の(a)～(d)いずれかの写し)

(a)TOEFL iBTの成績表

※2023年11月～2025年11月受験までの「成績表」が対象。

※TOEFL iBT Home Edition、TOEFL iBT Paper Editionは対象外とする。

(b)TOEIC Listening & Reading Testの成績表

※2023年11月～2025年11月受験までの「成績表」が対象。

(c)実用英語技能検定(英検)の合格証書

※「合格証書」が出願時に間に合わない場合に限り「二次可否通知・分野別得点票」でも可。

(d)IELTSの成績証明書

※2023年11月～2025年11月受験までの「成績証明書」が対象。

■第2次選考会場

早稲田大学本庄高等学院(埼玉県本庄市)

入学試験の詳細は、10月以降に公開する『入学試験要項』に記載します。

本学院 WEB サイト「よくある質問」もご確認ください。

入学試験情報



入試要項



入試結果・過去問



よくある質問



■入学金・学費等[2025年度]

(単位:円)

	1 年		2 年		3 年	
	入学時	第2期	第1期	第2期	第1期	第2期
入 学 金	260,000					
授 業 料	342,000	342,000	366,000	366,000	384,000	384,000
教育環境整備費	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000
実験実習料	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
生徒会費	10,000		10,000		10,000	
日本スポーツ振興センター共済掛金	1,500		1,500		1,500	
合 計	733,000	461,500	497,000	485,500	515,000	503,500

※2026 年度の入学金・学費等については 10 月以降に公開の入学試験要項を確認してください。

■奨学金[2025年度]

本学院には主に下表のような奨学金制度があります。また、この他に地方公共団体が運営する奨学金等が、生徒の就学をサポートしています。

種 別	金 額	募集人員	募集時期	成 績 優 秀 者
大 隈 記 念 奨 学 金	200,000 円(給付)	2・3年生各4名	4月	
小 野 梓 記 念 奨 学 金	300,000 円(給付)	9名	2・3年生4月 1年生9月	経 済 的 に 就学困難な者
早稲田大学生協給付奨学金	300,000 円(給付)	1名	9月	
校友会給付奨学金	300,000 円(給付)	4名	9月	
本庄高等学院奨学金※1	200,000 円(給付)	若干名	9月	
早稲田カード奨学金	300,000 円(給付)	3名	9月	保 護 者 埼玉県在住※2
埼玉県高等 入学一時金	250,000 円以内(貸与)			
学校等奨学金 月額奨学金	40,000 円以内(貸与)	有資格者	4月	

種類・金額および募集人員等は変更されることもあるので、詳細は募集案内にて確認してください。

※1.教職員・父母・一般篤志家からの寄付により設立されました。

※2.貸与額等は異なりますが、各都道府県に同様の制度があります。